

平成15年度事務事業評価表

担当	産業環境部	農林水産課	内線等	1282
事業コード		事務事業名	農地転用等事業	
根拠法令等	農地法等		A法令	B 条例 C 規則 D その他 E なし

①総合計画での位置付け

基本目標	施策名
にぎわいと活力あるまちづくり	農林業

②事務事業の内容

対象（受益者）	農業及び農地にかかわる市民に
手 段	農地転用等の許可・受理を行い
想定する成果	農地の保全と秩序ある開発を図る。

③事業の概要

項 目	平成14年度実績	平成15年度実績	平成16年度計画
農地転用等件数	285 件	314 件	—
農地転用等面積	101,605 m ²	127,292 m ²	—

④成果指標

成果指標名	① 農地転用件数実績伸び率	② 農地転用面積実績伸び率
成果指標の説明	(今年度－前年度) / 前年度 × 100	(今年度－前年度) / 前年度 × 100

⑤事業の進捗状況（一般会計）（千円）

		平成14年度決算	平成15年度決算	平成16年度予算
成果指標 ①	計画	—	—	—
	実績	△ 3.4	10.2	—
成果指標 ②	計画	—	—	—
	実績	△ 27.8	25.3	—
事業費	事業費	1,467	1,187	879
	人件費	11,091	11,769	12,111
	(人数)	1.45	1.45	1.45
	合計	12,558	12,956	12,990
財源内訳	国			
	県	36	135	36
	市債			
	その他	274	223	211
	一般財源	12,248	12,598	12,743

⑥事務事業内容の評価

項 目	課内評価	部長評価	評価の説明（問題点）
達 成 度	2	2	届出・許可等の申請で土地利用関係の調整が図れている。
経済効率性	2	2	
事務効率性	2	2	申請者に対し、適正かつ正確に申請されるよう指導し、事務処理の短縮を図る。
必 要 性	2	2	土地利用を調整し、無断転用等の防止を図るため必要。
小 計	8 /12 満点中	8 /12 満点中	
市民参加度	0	0	行政書士への委任がほとんど。
合 計	8 /15 満点中	8 /15 満点中	

※達成度等各項目は、0～3点までの4段階評価

総合評価	B	B	農地を保全するためには欠かせない事業である。
------	---	---	------------------------

※総合評価は、A～Dまでの4段階評価

⑦これまでに実施した改善点

農業委員会総会に係る資料の簡素化と個人情報保護の徹底を図った。

⑧今後改善すべき点

許可の規制緩和を進める時期に来ている。

⑨平成17年度予算に反映する項目

⑩組織、人員に関する提言

※各部長は、部長評価欄の採点部分だけを記載

平成15年度事務事業評価表

担当	産業環境部	農林水産課	内線等	1272
事業コード		事務事業名	畜産関係団体補助事業	
根拠法令等		A法令	B条例	C規則 Dその他 Eなし

①総合計画での位置付け

基本目標	施策名
にぎわいと活力あるまちづくり	農林業

②事務事業の内容

対象（受益者）	畜産農家に
手 段	事業継続支援の補助金を交付することにより
想定する成果	畜産業経営の安定化と生産の継続を図る。

③事業の概要

項 目	平成14年度実績	平成15年度実績	平成16年度計画
補助金額	374千円	384千円	392千円
補助対象事業費	6,277千円	6,516千円	6,530千円
飼育頭数(牛、豚)	137頭	85頭	85頭
〃 (鶏)	40,000頭	42,000頭	42,000頭
〃 (計)	40,137頭	42,085頭	42,085頭

④成果指標

成果指標名	① 補助割合	② 飼育頭数伸び率
成果指標の説明	補助金額/補助対象事業費×100	(今年度－前年度)/前年度×100

⑤事業の進捗状況 (一般会計) (千円)

		平成14年度決算	平成15年度決算	平成16年度予算
成果指標 ①	計画	—	—	6.0%
	実績	6.0%	5.9%	—
成果指標 ②	計画	—	—	0.0%
	実績	△0.1%	4.9%	—
事業費	事業費	421	426	451
	人件費	1,239	1,218	1,239
	(人数)	0.15	0.15	0.15
	合計	1,660	1,644	1,690
財源内訳	国			
	県			
	市債			
	その他			
	一般財源	1,660	1,644	1,690

⑥事務事業内容の評価

項 目	課内評価	部長評価	評価の説明（問題点）
達 成 度	2	2	畜産農家の経営安定に役立った。
経済効率性	2	2	畜産物の価格が低迷している中、畜産経営安定の一助となっている。
事務効率性	2	2	一人の職員で効率的に実施している。
必 要 性	2	2	畜産農家の経営安定と品質の向上を図るため、重要な役割を果たしている。
小 計	8 /12 満点中	8 /12 満点中	
市民参加度	0	0	
合 計	8 /12 満点中	8 /12 満点中	

※達成度等各項目は、0～3点までの4段階評価

総合評価	B	B	対象農家の減少はあるが、良質な畜産物の生産には欠かせない事業である。
------	---	---	------------------------------------

※総合評価は、A～Dまでの4段階評価

⑦これまでに実施した改善点

畜産農家の減少に伴い、平成13年度に補助金の一律カットを行った。

⑧今後改善すべき点

家畜の糞尿処理対策を注視していきたい。

平成16年度から補助金の定額部分40,000円を35,000円に減額する。

⑨平成17年度予算に反映する項目

⑩組織、人員に関する提言

※各部長は、部長評価欄の採点部分だけを記載

平成15年度事務事業評価表

担当	産業環境部	農林水産課	内線等	1272
事業コード		事務事業名	米政策対策事業	
根拠法令等	米政策改革基本要綱	A法令	B条例	C規則
		Dその他	Eなし	

①総合計画での位置付け

基本目標	施策名
にぎわいと活力あるまちづくり	農林業

②事務事業の内容

対象（受益者）	水田で野菜類を生産したり、農地として保全した農家に
手 段	助成金を交付し
想定する成果	水田の土地利用・生産性の向上による農業経営の安定を図る。

③事業の概要

(h a)

項 目	平成14年度実績	平成15年度実績	平成16年度計画
対象水田	46.3	47.7	
転作実施水田	59.0	69.7	—

④成果指標

①

②

成果指標名	転作率	
成果指標の説明	転作実施水田/対象水田×100	

⑤事業の進捗状況

(一般会計)

(千円)

		平成14年度決算	平成15年度決算	平成16年度予算
成果指標 ①	計画	—	—	—
	実績	127.5%	146.0%	—
成果指標 ②	計画			
	実績			
事業費	事業費	1,464	970	999
	人件費	9,089	8,929	9,188
	(人数)	1.1	1.1	1.1
	合計	10,553	9,899	10,187
財源内訳	国			
	県	1,263	968	961
	市債			
	その他			
	一般財源	9,290	8,931	9,226

⑥事務事業内容の評価

項 目	課内評価	部長評価	評価の説明（問題点）
達 成 度	2	2	蒲郡市の転作率は基準を上回っている。
経済効率性	1	1	国の政策に基づき実施している。
事務効率性	2	1	一人の職員で効率的に実施している。
必 要 性	1	1	計画的な米生産を図るため、補足的な役割を果たしている。
小 計	6 /12 満点中	5 /12 満点中	
市民参加度	—	0	
合 計	6 /12 満点中	5 /12 満点中	

※達成度等各項目は、0～3点までの4段階評価

総合評価	C	C	水田農業零細な市においては、全国一律の施策になじまない。
------	---	---	------------------------------

※総合評価は、A～Dまでの4段階評価

⑦これまでに実施した改善点

⑧今後改善すべき点

水田での野菜等栽培農家を増やし、直販所を新設して販売の拡大に努める。

⑨平成17年度予算に反映する項目

⑩組織、人員に関する提言

※各部長は、部長評価欄の採点部分だけを記載

平成15年度事務事業評価表

担当	産業環境部	農林水産課	内線等	1272
----	-------	-------	-----	------

事業コード		事務事業名	市民農園管理運営事業				
根拠法令等	特定農地貸付けに関する農地法等の特例に関する法律	A(法令)	B 条例	C 規則	D その他	E なし	

①総合計画での位置付け

基本目標	施策名
にぎわいと活力あるまちづくり	農林業

②事務事業の内容

対象（受益者）	農業体験を希望する一般市民に
手 段	1区画20㎡の市民農園を貸付ることにより
想定する成果	農業への理解を深めてもらう。

③事業の概要

項 目	平成14年度実績	平成15年度実績	平成16年度実績
小菜園区画数	37	37	52
小菜園利用件数	37	37	—
小菜園利用料	185,000円	183,860円	275,000円
年間管理費	223,126円	242,886円	248,000円

④成果指標

成果指標名	①	②
成果指標の説明	市民農園利用率 利用件数/区画数×100	経費割合 小菜園利用料/年間管理費

⑤事業の進捗状況（一般会計）（千円）

		平成14年度決算	平成15年度決算	平成16年度予算
成果指標①	計画	—	—	100.0
	実績	100.0	100.0	—
成果指標②	計画	—	—	110.9%
	実績	82.9%	75.7%	—
事業費	事業費	223	243	498
	人件費	826	812	835
	(人数)	0.1	0.1	0.1
	合計	1,049	1,055	1,333
財源内訳	国			
	県			
	市債			
	その他	185	184	275
	一般財源	864	871	1,058

⑥事務事業内容の評価

項 目	課内評価	部長評価	評価の説明（問題点）
達 成 度	2	2	遊休農地の解消にも役立った。
経済効率性	3	2	管理費は利用料でほぼまかなえている。
事務効率性	2	2	一人の職員で効率的に実施している。
必 要 性	2	1	市民のニーズは高い。遊休農地の有効活用対策と絡め、新規農園の開設も考えられる。
小 計	9 /12 満点中	7 /12 満点中	
市民参加度	3	3	新規開園に向けてアンケート調査を実施する予定。
合 計	12 /15 満点中	10 /15 満点中	

※達成度等各項目は、0～3点までの4段階評価

総合評価	A	B	遊休農地の解消策としても有効な事業である。
------	---	---	-----------------------

※総合評価は、A～Dまでの4段階評価

⑦これまでに実施した改善点

昭和58年度当初は68区画でスタートしたが、地主の都合で平成8年度からは37区画で実施している。

⑧今後改善すべき点

16年度から新たに15区画開園し、「市民農園」と名称変更する。

現在、1区画20㎡で貸付しているが、100㎡以上の区画でも開園を検討する。

⑨平成17年度予算に反映する項目

--

⑩組織、人員に関する提言

--

※各部長は、部長評価欄の採点部分だけを記載

平成15年度事務事業評価表

担当	産業環境部	農林水産課	内線等	1272
事業コード		事務事業名	有害鳥獣駆除事業	
根拠法令等		A法令	B条例	C規則 Dその他 Eなし

①総合計画での位置付け

基本目標	施策名
にぎわいと活力あるまちづくり	農林業

②事務事業の内容

対象（受益者）	有害鳥獣の被害を受けた農家のために
手 段	猟友会に有害鳥獣の駆除を委託し
想定する成果	農業経営の安定を図る。

③事業の概要

項 目	平成14年度実績	平成15年度実績	平成16年度計画
駆除実績（カラス、ドバト、ヒヨド）	羽 1,211	羽 1,171	羽 —
被害額	13,248千円	14,476千円	—

④成果指標

成果指標名	① 駆除数実績	② 被害額実績
成果指標の説明	$(\text{今年度駆除数} - \text{前年度駆除数}) / \text{前年度駆除数} \times 100$	$(\text{今年度被害額} - \text{前年度被害額}) / \text{前年度被害額} \times 100$

⑤事業の進捗状況（一般会計）（千円）

		平成14年度決算	平成15年度決算	平成16年度予算
成果指標①	計画	—	—	—
	実績	81.6	△ 3.3	—
成果指標②	計画			—
	実績	0.0	9.3	—
事業費	事業費	297	294	298
	人件費	3,718	3,653	3,759
	(人数)	0.45	0.45	0.45
	合計	4,015	3,947	4,057
財源内訳	国			
	県	118		
	市債			
	その他			
	一般財源	3,897	3,947	4,057

⑥事務事業内容の評価

項 目	課内評価	部長評価	評価の説明（問題点）
達 成 度	1	1	10月、3月に実施。特にみかんの収穫期の駆除は有効。
経済効率性	1	2	平成15年度から県費補助がなくなり市単独事業となった。
事務効率性	2	2	一人の職員で効率的に実施している。
必 要 性	2	2	農家からの要望も強く、J Aと連携をとりながら実施していく。
小 計	6 /12 満点中	7 /12 満点中	
市民参加度	1	2	農家からの要望により実施している。
合 計	7 /15 満点中	9 /15 満点中	

※達成度等各項目は、0～3点までの4段階評価

総合評価	C	C	猟友会の協力がある事業である。
------	---	---	-----------------

※総合評価は、A～Dまでの4段階評価

⑦これまでに実施した改善点

⑧今後改善すべき点

農家の自助努力による防止策等の検討

⑨平成17年度予算に反映する項目

⑩組織、人員に関する提言

※各部長は、部長評価欄の採点部分だけを記載

平成15年度事務事業評価表

担当	産業環境部	農林水産課	内線等	1272
事業コード		事務事業名	海浜清掃事業	
根拠法令等		A 法令	B 条例	C 規則 D その他 E なし

①総合計画での位置付け

基本目標	施策名
にぎわいと活力あるまちづくり	農林業

②事務事業の内容

対象（受益者）	3漁協に
手 段	海浜清掃を委託することにより
想定する成果	管内海域の漁場環境の保全を図る。

③事業の概要

項 目	漁協名	平成14年度実績	平成15年度実績	平成16年度計画
ごみ処理量	西浦漁協	8.70	0.91	—
	形原漁協	0.51	0.78	—
	三谷漁協	1.46	1.55	—
	合 計	10.67	3.24	—

④成果指標

成果指標名	①	②
成果指標の説明	ごみ処理実績伸び率	
	(今年度－前年度) / 前年度 × 100	

⑤事業の進捗状況

(一般会計)

(千円)

		平成14年度決算	平成15年度決算	平成16年度予算
成果指標 ①	計画	—	—	—
	実績	△ 10.3	△ 69.6	—
成果指標 ②	計画			
	実績			
事業費	事業費	601	603	601
	人件費	413	406	418
	(人数)	0.05	0.05	0.05
	合計	1,014	1,009	1,019
財源内訳	国			
	県	130	140	140
	市債			
	その他			
	一般財源	884	869	879

⑥事務事業内容の評価

項 目	課内評価	部長評価	評価の説明（問題点）
達 成 度	1	1	多くの漁民の参加を得て実施しているが、地域住民の環境保全意識向上にはつながっていない。
経済効率性	2	2	ごみ処理費用が高騰しているが、定額で委託している。
事務効率性	2	2	一人の職員で効率的に実施している。
必 要 性	2	2	地域住民の環境保全意識の向上を図るためにも、必要な事業である。
小 計	7 /12 満点中	7 /12 満点中	
市民参加度	0	0	漁民と漁協職員による清掃活動である。
合 計	7 /15 満点中	7 /15 満点中	

※達成度等各項目は、0～3点までの4段階評価

総合評価	B	C	漁場環境を保全するためには欠かせない事業である。
------	---	---	--------------------------

※総合評価は、A～Dまでの4段階評価

⑦これまでに実施した改善点

昭和57年度から県補助対象事業として実施している。

⑧今後改善すべき点

県の外郭団体から支給される物品が本当に必要かどうか検証する。

⑨平成17年度予算に反映する項目

⑩組織、人員に関する提言

※各部長は、部長評価欄の採点部分だけを記載

平成15年度事務事業評価表

担当	産業環境部	農林水産課	内線等	1253
事業コード		事務事業名	農道舗装及び側溝整備事業	
根拠法令等		A法令	B条例	C規則 Dその他 <u>Eなし</u>

①総合計画での位置付け

基本目標	施策名
にぎわいと活力あふれるまちづくり	農林業

②事務事業の内容

対象（受益者）	農業従事者と住民に対して
手 段	農道の整備及び改修をすることによって
想定する成果	農道施設の適切な状態を維持し、農道の保全と環境の向上を図る。

③事業の概要

項 目	平成14年度実績	平成15年度実績	平成16年度計画
側溝整備 農道舗装補修	102箇所 L=306m 25箇所A=1137㎡	76箇所 L=365m 29箇所 A=1226㎡	90箇所 L=270m 25箇所 A=1200㎡

④成果指標

成果指標名	①	②
地区要望実施率		
成果指標の説明	施工実施箇所数/地区要望箇所数×100	

⑤事業の進捗状況（ 一般会計 ）（千円）

		平成14年度決算	平成15年度決算	平成16年度予算
成果指標 ①	計画	—	—	—
	実績	94.8%	94.9%	—
成果指標 ②	計画			
	実績			
事業費	事業費	17,324	16,147	28,000
	人件費	7,346	7,305	7,517
	(人数)	0.9	0.9	0.9
	合計	24,670	23,452	35,517
財源内訳	国			
	県			
	市債			
	その他			
	一般財源	24,670	23,452	35,517

⑥事務事業内容の評価

項 目	課内評価	部長評価	評価の説明（問題点）
達 成 度	3	2	前年・当年度の要望箇所は計画どおり施行されたが、一部に地元調整が必要な箇所があった。
経済効率性	2	2	維持補修等が施行され農道施設延命が図れる。草刈、浚渫、軽微な補修は地域住民（受益者）により実施することが望ましい。
事務効率性	2	2	要望事項に対して地域住民（総代等）と連携を取り、投入された職員で効率的に実施している。
必 要 性	2	2	農業従事者及び市民が利用する道路であり、維持管理は市及び受益者が行うべきである。
小 計	9 /12 満点中	8 /12 満点中	
市民参加度	1	1	一部の農業従事者が農地・農道の草刈等維持管理をしている。農道の不良箇所の通報（要望）は地域住民等にも、お願いしている。
合 計	10 /15 満点中	9 /15 満点中	

※達成度等各項目は、0～3点までの4段階評価

総合評価	B	B	農業従事者が減少している現在、地域住民及び農家（受益者）が道路及び農地の草刈等の環境整備及び軽微な補修は期待出来なくなりつつある。農道の必要性を考慮し維持管理のために、農家及び地域住民と市等（改良区・農業委員会）が連携を取って事業を進める必要がある。
------	---	---	---

※総合評価は、A～Dまでの4段階評価

⑦これまでに実施した改善点

市の管理体制に加え、農家・地域住民・総代等の各関係者が農道施設の危険箇所を通報してくれる体制を整えたことにより、環境整備・維持補修の早急な対応が出来ることとなった。

⑧今後改善すべき点

農道は農家が農作業用に主として利用しているが、近年健康ブームによりジョギング等で一般市民の利用も多くなってきた。維持管理に関して受益の公平性を確保するため、地域住民及び農家（受益者）が道路及び農地の草刈等の環境整備及び軽微な補修は利用者・総代区等で施行し農道の保全と環境の向上を確保していく必要がある。

⑨平成17年度予算に反映する項目

⑩組織、人員に関する提言

※各部長は、部長評価欄の採点部分だけを記載

平成15年度事務事業評価表

担当	産業環境部	農林水産課	内線等	1253
事業コード		事務事業名	水路改修事業	
根拠法令等			A法令 B条例 C規則 Dその他	Eなし

①総合計画での位置付け

基本目標	施策名
にぎわいと活力あふれるまちづくり	農林業

②事務事業の内容

対象（受益者）	農業従事者と住民に対して
手 段	水路の整備及び改修をすることによって
想定する成果	水路施設の適切な状態を維持し、水路の保全と環境の向上を図る。

③事業の概要

項 目	平成14年度実績	平成15年度実績	平成16年度計画
事業内容	排水路整備L=53m 水路整備 L=65m 小規模水路改修 6箇所	水路改修=150.9m 水路設計委託 L=350m 小規模水路改修 8箇所	水路改修L=110m 小規模水路改修 8箇所

④成果指標

成果指標名	①	②
地区要望実施率		
成果指標の説明	施工実施件数/地区要望件数×100	

⑤事業の進捗状況（ 一般会計 ）（千円）

		平成14年度決算	平成15年度決算	平成16年度予算
成果指標 ①	計画	—	—	—
	実績	100.0%	90.0%	—
成果指標 ②	計画			
	実績			
事業費	事業費	8,892	20,705	4,100
	人件費	5,784	9,334	9,605
	(人数)	0.70	1.15	1.15
	合計	14,676	30,039	13,705
財源内訳	国			
	県			
	市債			
	その他			
	一般財源	14,676	30,039	13,705

⑥事務事業内容の評価

項 目	課内評価	部長評価	評価の説明（問題点）
達 成 度	2	2	前年・当年度の要望箇所は計画どおり施工されたが、一部に地元調整が必要な箇所があった。
経済効率性	2	2	維持補修等が施工され水路施設延命が図れる。草刈、浚渫、軽微な補修は地域住民（受益者）により実施することが望ましい。
事務効率性	2	2	要望事項に対して地域住民（総代等）と連携を取り、投入された職員で効率的に実施している。
必 要 性	3	2	農業地域内の農作物栽培に必要な水路施設であり、維持管理は市及び受益者で、行う必要がある。
小 計	9 /12 満点中	8 /12 満点中	
市民参加度	1	1	一部の農業従事者が水路・農地の草刈等維持管理をしている。水路の不良箇所の通報（要望）は地域住民等にも、お願いしている。
合 計	10 /15 満点中	9 /15 満点中	

※達成度等各項目は、0～3点までの4段階評価

総合評価	B	B	農業従事者が減少している現在、農家（受益者）が水路及び農地の草刈等の環境整備及び軽微な補修は期待出来なくなりつつある。水路の必要性を考慮し維持管理のために、農家及び地域住民と市等（改良区・農業委員会）が連携を取って事業を進める必要がある。
------	---	---	---

※総合評価は、A～Dまでの4段階評価

⑦これまでに実施した改善点

市の管理体制に加え、農家・地域住民・総代等の各関係者が水路施設の危険箇所を通報してくれる体制が整ったことにより、環境整備・維持補修の早急な対応が出来ることとなった。

⑧今後改善すべき点

農業水路は農家が農作業用（農作物栽培）に主として利用しているが、近年の住宅事情により農地水路附近に建築されるため、家屋排水と農業用水の混在が起りつつあり、水管理等の問題が提起される。一般住居の排水利用も多くなり、維持管理に関して良質な家庭排水処理に努めて、良好な水路水質を確保するため、地域住民及び農家（受益者）が水路の浚渫・草刈等の環境整備及び軽微な補修は利用者・総代区等で施工し農業水路の保全と環境の向上を確保していく必要がある。

⑨平成17年度予算に反映する項目

⑩組織、人員に関する提言

※各部長は、部長評価欄の採点部分だけを記載

平成15年度事務事業評価表

担当	産業環境部	農林水産課	内線等	1253
事業コード		事務事業名	とよおか湖公園維持管理事業	
根拠法令等	蒲郡市都市公園	A法令	B条例	C規則 Dその他 Eなし

①総合計画での位置付け

基本目標	施策名
にぎわいと活力あふれるまちづくり	農林業

②事務事業の内容

対象（受益者）	住民と来園者に対して
手 段	公園の維持・管理・補修等を行うことによって
想定する成果	公園施設の適切な状態を維持し、公園及び周辺の保全と環境の向上を図る。

③事業の概要

項 目	平成14年度実績	平成15年度実績	平成16年度計画
施設規模	公園面積A=1.9ha・便所・東屋・遊具・親水施設・植栽・芝生広場A=4800㎡	公園面積A=1.9ha・便所・東屋・遊具・親水施設・植栽・芝生広場A=4800㎡	公園面積A=1.9ha・便所・東屋・遊具・親水施設・植栽・芝生広場A=4800㎡
維持管理委託料	シルバー人材 2,628千円	都市施設協会 7,108千円	都市施設協会 5,447千円

④成果指標

	①	②
成果指標名	維持管理委託料	1日平均利用者数
成果指標の説明	維持管理委託料	1日平均利用者数

⑤事業の進捗状況（一般会計）（千円）

		平成14年度決算	平成15年度決算	平成16年度予算
成果指標①	計画	2,280	7,509	5,447
	実績	2,628	7,108	—
成果指標②	計画	—	—	—
	実績	—	—	30人（土日除く）
事業費	事業費	5,076	9,865	8,405
	人件費	7,850	4,058	4,176
	(人数)	0.95	0.50	0.50
	合計	12,926	13,923	12,581
財源内訳	国			
	県			
	市債			
	その他			
	一般財源	12,926	13,923	12,581

⑥事務事業内容の評価

項 目	課内評価	部長評価	評価の説明（問題点）
達 成 度	2	2	ほぼ目標どおりの維持管理が達成されたが、一部施設に対して苦情があった。
経済効率性	2	2	投入された予算にほぼ見合った成果をあげている。
事務効率性	2	2	投入された人員にほぼ見合った成果をあげている。
必 要 性	2	2	自然を満喫でき、誰でもが自由に利用できる施設であり、公園としての維持管理業務は必要である。
小 計	8 /12 満点中	8 /12 満点中	
市民参加度	2	2	いつでも、誰でもが利用できる施設であるが、特に積極的に市民から意見を聴取していない。幼稚園等の利用も多い。
合 計	10 /15 満点中	10 /15 満点中	

※達成度等各項目は、0～3点までの4段階評価

総合評価	B	B	自然に親しめる公園として適切な維持管理を行い市民に潤いを与える施設として、維持管理事業は必要である。管理状態の基準（利用者に不快を与えない程度）が明確化されていないので管理費の効果が把握出来ない部分がある。
------	---	---	---

※総合評価は、A～Dまでの4段階評価

⑦これまでに実施した改善点

開設当時はシルバー人材に必要時期に草刈等を依頼していたが、H15より草刈・芝刈り・低木剪定・機械施設管理等も含めて良好な維持管理が可能な都市施設管理協会と年間契約により実施している。

⑧今後改善すべき点

公園施設の適切な状態を維持し、公園及び周辺の保全と環境の向上を図るために、管理委託の方法を市直営・地元管理・民間管理等の最適な組み合わせにより良好な維持管理と経済的な維持管理費で公園施設を管理する必要がある。

⑨平成17年度予算に反映する項目

⑩組織、人員に関する提言

※各部長は、部長評価欄の採点部分だけを記載

平成15年度事務事業評価表

担当	産業環境部	農林水産課	内線等	1253
事業コード		事務事業名	松くい虫防除事業	
根拠法令等	蒲郡市松くい虫薬剤防除補助金交付要綱		A法令 B条例 C規則 <u>Dその他</u> Eなし	

①総合計画での位置付け

基本目標	施策名
にぎわいと活力あふれるまちづくり	農林業

②事務事業の内容

対象（受益者）	防除する松の所有者又は管理者のために
手 段	松くい虫被害を防除（樹幹注入）することによって
想定する成果	観光及び緑地保全等の由緒ある銘木等の松を、松くい虫被害から防除し環境の保全等を図る。

③事業の概要

項 目	平成14年度実績	平成15年度実績	平成16年度計画
実施箇所	市施工松島3地区39本 補助施工 6地区	市施工竹島園地5地区53本 補助施工 5地区	市施工 若宮神社35本 補助施工 無
要望箇所	9地区	9地区	1箇所

④成果指標

	①	②
成果指標名	地区要望実施率	補助率
成果指標の説明	施工実施箇所数/地区要望箇所数×100	補助率金額/対象事業費×100

⑤事業の進捗状況（ 一般会計 ）（千円）

		平成14年度決算	平成15年度決算	平成16年度予算
成果指標 ①	計画	—	—	—
	実績	100.0%	111.1%	—
成果指標 ②	計画	45.0%	45.0%	—
	実績	45.0%	45.0%	—
事業費	事業費	2,925	1,593	850
	人件費	1,652	1,623	1,670
	(人数)	0.20	0.20	0.20
	合計	4,577	3,216	2,520
財源内訳	国			
	県			
	市債			
	その他			
	一般財源	4,577	3,216	2,520

⑥事務事業内容の評価

項 目	課内評価	部長評価	評価の説明（問題点）
達 成 度	3	2	前年・当年度の要望箇所は計画どおり施工された追加要望地区についても、検討の結果、実施可能となった。
経済効率性	2	2	投入された予算に見合った成果を上げているが、受益者の負担割合がH13から市50%→45%受益者50%→55%となっている。
事務効率性	2	2	要望事項に対して地域住民（総代等）と連携を取り、投入された職員で効率的に実施している。
必 要 性	2	2	観光資源及び緑地保全等の由緒ある銘木等の松を松くい虫被害を防除し環境の向上を図る必要性がある。
小 計	9 /12 満点中	8 /12 満点中	
市民参加度	1	1	市民の直接参加はされていない。事業所・総代区の要望に基づく事業である。現在10地区1事業所
合 計	10 /15 満点中	9 /15 満点中	

※達成度等各項目は、0～3点までの4段階評価

総合評価	B	B	自然の松が減少する中で、防除事業を実施することにより松くい虫から松を守り緑化保全・観光資源を確保する。松管理者（所有者）の自己保全意識も必要である。
------	---	---	--

※総合評価は、A～Dまでの4段階評価

⑦これまでに実施した改善点

松くい虫の大量発生は空中・地上散布で施工していたが、国・県の補助金廃止や面積要件の制限により市単独の小規模対応の樹幹注入方式に変化してきた。現在はすべて樹幹注入であり個別対応としている。

⑧今後改善すべき点

保全すべき松の実態調査を実施し、緑化保全・観光資源として松を守っていく。

⑨平成17年度予算に反映する項目

⑩組織、人員に関する提言

※各部長は、部長評価欄の採点部分だけを記載